

2019年5月14日

「プロトコルに基づいた非侵襲的人工呼吸法の急性呼吸促迫症候群に対する効果の研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4337
研究課題名	プロトコルに基づいた非侵襲的人工呼吸法の急性呼吸促迫症候群に対する効果の研究
所属(診療科等)	救急科
研究責任者(職名)	今村 浩(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年3月31日
研究の意義、目的	急性呼吸促迫症候群(肺炎など様々な原因で重症の低酸素に陥る疾患群)に対して非侵襲的陽圧換気法(マスクを使った人工呼吸)が有効かどうかを明らかにすることを目的とした研究で、本症の救命法の開発に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2006年5月1日から2010年5月31日の期間に当院で成人呼吸促迫症候群に対して非侵襲的陽圧換気法を行われた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、非侵襲的陽圧換気法の有効性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 今村 浩(医学部 医学科救急集中治療医学) 電話: 0263-37-3018

【既存の診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。